

平成23年度 第一回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録

日時：平成24年2月2日（木）13：30～16：00

会場：東京大学物性研究所 6階 第2会議室

出席者：辛埴(会長、東大物性研) 雨宮健太(KEK) 雨宮慶幸(東大新領域) 奥田太一(広島大)
尾嶋正治(東大) 小野寛太(KEK) 木下豊彦(JASLI) 組頭広志(KEK) 藤森淳(東大理) 吉信
淳(東大物性研)

オブザーバー：柿崎明人(東大物性研) 松田巖(東大物性研) 原田慈久(東大物性研)

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 平成23年度 総会議事録(案)
- ・ 平成24年度前期放射光連携研究機構 物質科学ビームライン実験課題申請一覧
- ・ VUV・SX高輝度光源利用者懇談会 会則・細則

報告・議事

1. 総会議事録の承認

平成23年度総会議事録が承認された。

2. SPring-8 共同利用状況

松田巖 播磨分室准教授より、SPring-8共同利用実験状況・研究成果についての報告がおこなわれた。

- ・ 各実験ステーションでの研究成果
- ・ ホームページの開設(平成23年12月)
- ・ 共同利用実験課題申請数の増加

3. アウトステーションの現状報告

尾嶋正治 東京大学放射光連携研究機構長より、機構の運営体制、今後の活動予定等の説明が行われた。

- ・ 発足後6年間の順調な運営状況
- ・ 平成24年度の体制

機構長：尾嶋正治 現機構長(東京大学工学部教授)

物質科学部門長：辛埴 東京大学物性研究所教授

生命科学部門長：豊島 近 東京大学分子細胞生物学研究所教授

・機構運営委員会の報告（平成24年1月24日開催）

- ① アウトステーション課題審査結果の承認
- ② 生命科学・物質科学部門間の共同研究の検討
- ③ アウトステーションS課題報告方法の検討

4. アウトステーション課題審査について

辛 埴 会長より、アウトステーション課題審査結果の報告がおこなわれた。

5. つくば分室の現状報告

柿崎明人 軌道放射物性研究施設長より、つくば分室の状況と今後について説明がおこなわれた。

- ・震災時の被害状況と復興作業
- ・フォトンファクトリー・ビームライン BL19B の軟X線発光分光装置の共同利用実験停止（平成24年度末終了）

6. 会長・幹事選挙

次期会長候補として小森文夫氏（東大物性研究所教授）が推薦された。また、辛会長より選挙管理委員として、吉信淳氏、松田巖氏、原田慈久氏（以上、東大物性研究所）が指名され、承認された。今後、次期会長の信任投票・幹事選挙が、選挙管理委員により今年度末までに執り行われる。

7. 全体討論

全体討論において、以下の討論がおこなわれた。

- ・建設と開発を伴う物性研究を担ってきた物性研究所SOR施設の今後のあり方、PFとの協力体制の重要性
- ・ビームラインBL7のアクティビティ向上の必要性
- ・放射光科学全体の最適化をどう図るか

（議事録 事務局）